学校番号	3029

令和８年度 学 ＳＳ理数

教科	学 SS理数	科目	(学)ライフサイエンス	単位数	２単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	課題研究メソッド 2nd Edition（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の課題研究は、SSコースの『サイエンス探究』とLSコースの『ライフサイエンス』の２コースで進めていきますが、専門研究の『サイエンス探究』に対し、『ライフサイエンス』では、人文科学、社会科学、自然科学をはじめ、文化、芸術、生活科学、健康科学や、境界領域、文理融合領域など、幅広い内容から研究領域を選択し、具体的課題を設定して、研究を進めます。また、異なる研究領域における生徒間の相互交流を行うなど、いろいろな見方や考え方を身につけいくことも、『ライフサイエンス』の特徴です。現代社会の諸問題は、個別の研究領域だけで問題が解決することは少なく、むしろ、多くの領域の専門家が協力して、解決の可能性が見出されることが多いのが実情です。自らの研究を深めると共に、多くの生徒と考えを交換し、幅広い視点や考え方と現代社会の問題解決に必要な力を身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

課題研究を通して身につけたい「心」と「力」は、「知的好奇心・知的探究心」「問題発見力・問題解決力」「読解力・情報収集力」「表現力・発信力」「論理的思考力・論理的表現力」「聞く力・質問する力」「チームワーク・リーダーシップ・フォロワーシップ」など多岐にわたります。これらの多くは、１年次に実施した『信念（まこと）』『理想（のぞみ）』でその基礎が培われていますが、２年次では具体的な課題研究を通して、それらをより実践的に深めていきます。本校の課題研究において最も重視している「知的好奇心・知的探究心」を高めていくことはもちろんですが、『ライフサイエンス』においては、「表現力・発信力」「聞く力・質問する力」など、コミュニケーション力を身につけることにも力点をおいていきます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a ：知識・技能	b ：思考・判断・表現	c ：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象とする事象について探究するための必要な知識・技能を身につけている。 対象に即して科学的方法を活用し、データ処理等において数理的・情報的手法を活用して、研究を進めることができる。 課題の探究を通して、知識・技能を論理的に活用する力を身につけている。	対象を多角的複合的に捉え、リサーチクエスチョンを設定して研究計画をたて、研究を進めることができる。 得られた結果を分析・考察し、論理的に結論を導くことができる。 研究成果について、論理的に表現して、発表・発信することができる。	研究テーマの面白さをよく理解し、研究テーマに対する熱意を持っている。 意欲的に研究に取り組み、研究を楽しむことができている。 研究活動・研究交流を通して、様々な事象に知的好奇心をもって向き合い、課題解決に挑戦する姿勢を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	課題の設定	LS・SS選択と研究領域選択 研究背景の整理 研究テーマ・仮説・リサーチクエスチョンの設定	a　研究背景が押さえられている b　仮説やリサーチクエスチョンが明確に設定できている。 c　設定した研究テーマの面白さを見出している。	◎課題の設定	○課題の設定	◎課題の設定
	研究の計画	研究方法の明確化 分担・スケジュールの確定 研究計画発表	a　研究方法が調べられている。 b　研究方法が適切である。 c　意欲的な計画ができ、また計画を研究計画発表で紹介できている。	◎研究計画書 ◎研究計画の発表	○研究計画書 ○研究計画の発表	◎研究計画書 ◎研究計画の発表 ◎交流の記録
	研究の実施	研究の実施 文献調査・アンケート・インタビュー・実地調査・観察・実験など 他のグループとの研究交流	a　知識・技能を活用している。 b　研究結果の意味を考えつつ、研究を実施している。 c　意欲的に研究を進め、研究交流を行っている。	◎研究ノート	○研究ノート	◎研究ノート ◎交流の記録
後期	結果の分析	結果の分析・評価・整理 資料作成とロジックの整理 他のグループとの研究交流	a　知識・技能を活用している。 b　研究結果と適切に分析し、論理的にまとめている。 c　意欲的に考察を行い、研究交流で議論を深めている。	○結果分析 ○作成資料 ○ロジックツリー	◎結果分析 ◎作成資料 ◎ロジックツリー	◎結果分析 ◎作成資料 ◎ロジックツリー ◎交流の記録
	成果の発表	プレゼン資料の作成 プレゼンテーション準備 研究成果発表	a　知識・技能を生かして、ポスターが作成されている。 b　論理的に構成され、また、論理的に表現されている。 c　意欲的に成果発表し、質疑応答等で議論を深めている。	◎研究成果の発表	◎研究成果の発表	◎研究成果の発表 ◎交流の記録
	報告書作成	研究報告書の作成 研究の振り返り・まとめ 研究の外部発信の準備 ３年次『総合探究』へ	a　知識・技能を生かして報告書が作成されている。 b　論理的な流れで報告書がまとめられている。 c　目的から成果・展望まで意欲的な報告となっている。	◎研究報告書	◎研究報告書	◎研究報告書

※　表中の観点について　　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

表中の記号について　　◎：特に重視　　○：重視